

神奈川県内の全小選挙区で統一候補を！

違憲の「安保法制」廃止・安倍政権退陣のため、
衆議院小選挙区での選挙協力への要望書

2017年 6月 9日

民進党神奈川県総支部連合会	御中
日本共産党神奈川県委員会	御中
自由党神奈川県総支部連合会	御中
社民党神奈川県連合	御中

私たちは、神奈川県内に18区ある衆議院小選挙区において、それぞれ独立に結成された「市民の会」などに参加する一般市民です。2016年11月23日成立の「かながわ市民連絡会」の場などを通じて互いに交流しております。

私たちは一致共同して、日本国憲法の三大原則と立憲主義を尊重される貴四政党に、神奈川県内の全ての衆議院小選挙区で統一候補を擁立されるよう要望いたします。

私たちは、安倍政権が進めてきた集団的自衛権行使容認の閣議決定、2015年安保法の制定などにより立憲主義が崩壊していく姿、そして海外派兵のための9条改憲、緊急事態条項を盛り込み、基本的人権を制約する改憲に突き進もうとする姿勢に、強い危機感をもっています。私たちは、政治の私物化・独裁化・腐敗の様相が著しい安倍政権を、なんとしても退陣に追い込みたいと考えています。

昨年2月19日、（当時の）5野党は国政選挙での協力を合意しました。6月7日には「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の様々な要望を受け止め、ともに全力で戦うことを約しました。私たち市民はこれらを大いに歓迎し、支援して参りました。その結果、7月の参議院議員選挙では、与党と補完勢力に2/3の議席を許したとはいえ、32の一人区全てにおいて野党統一候補が実現し、11の選挙区で勝利し、私たちは大いに勇気づけられました。衆議院議員選挙についても、9月23日、一人区全てにおいて「出来る限りの協力」を確認、そして本年4月5日には「『市民連合が実現を目指す政策』に関する4党の考え方」を確認されました。貴四政党のこれらご努力に深く敬意を表します。

私たちは、今こそが、国内外で数千万人の犠牲者を出してしまったあの戦争後、日本国憲法下の平和な70余年を経て、権力者が横暴を振るい基本的人権が失われる「戦前」のような日本に戻ってしまうのか、それを止められるのか、その分水嶺だと認識しています。

各党内や予定候補者それぞれの事情や歴史的背景はありますが、この危機的な状況を止めるため、万難を排して全選挙区での統一候補擁立を切望いたします。候補の一本化により、有権者に対して非常に強いメッセージを打ち出すことができ、私たちも広く強く訴えていくことができます。投票率が上がり、単なる足し算以上の得票を獲得できると確信します。

私たちは、各々の選挙区で、統一候補を精一杯ご支援することをお誓い致します。

以上